

令和 5 年 6 月 21 日現在

機関番号：10101

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2022

課題番号：19K13876

研究課題名（和文）戦後日韓におけるポピュラー音楽空間の融合と相互作用に関する研究

研究課題名（英文）Study on Hybridity and Interactions in Japanese and Korean Popular Music since 1945

研究代表者

金 ソンミン（KIM, SUNGMIN）

北海道大学・メディア・コミュニケーション研究院・教授

研究者番号：60600426

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,100,000円

研究成果の概要（和文）：ポピュラー音楽における中心・周辺モデルを超えたグローバルな生産・流通・消費のメカニズムとその中の新たな集団的アイデンティティを、これまで世界ポピュラー音楽の周辺として位置付けられてきた東アジア地域から明した上で、これまでの批評空間において単純な「比較」の対象として語られてきた日韓のポピュラー音楽空間を、重層的な水準における「相互作用」との側面から歴史的かつ実証的検討することで、国家間の次元を超えたグローバルな次元における共通の文化実践とその効果を明らかにすることを旨とした本研究の目的を、4年間の研究とその成果を通じて果たした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究を遂行することで、様々な差異と類似性が複雑に絡み合い、せめぎ合う日韓のポピュラー音楽の関係性を、「日韓」「東アジア」「グローバル」の諸文脈で作用してきた過程を学術的に追究し、「グローバルに生産・流通・消費されている日韓のポピュラー音楽空間のメカニズムは、ナショナル・ローカル・グローバルの諸次元でどのように構築されてきたのか」を追究することで、東アジア地域の歴史からポピュラー音楽のグローバルな歴史を書き換え、「日韓」をめぐる二国間的認識とまなざしのフレームを、世界文化史的な観点に転換させることで、学術的および社会的インパクトを同時にもつ成果を発信することができた。

研究成果の概要（英文）：This project aims to clarify the mechanisms of global production, distribution and consumption beyond the centre-periphery model in popular music and the new collective identity within it from the East Asian region, which has been positioned as the periphery of world popular music. The aim of this research was to clarify the common cultural practices and their effects in the global dimension beyond the national dimension by conducting a historical and empirical examination of the popular music spaces of Japan and Korea, which have been described as simple objects of "comparison" in the critical space of the past, from the aspect of "interaction" on a multilayered level. The study has fulfilled its aim through four years of research and its results.

研究分野：文化社会学、メディア・大衆文化研究

キーワード：ポピュラー音楽 日韓 音楽産業 J-POP K-POP

### 1. 研究開始当初の背景

様々な差異と類似性が複雑に絡み合い、せめぎ合う日韓のポピュラー音楽の関係性を、「日韓」「東アジア」「グローバル」の諸文脈で作用してきた過程を学術的に追究するこの研究課題の核心をなす学術的問いは、「グローバルに生産・流通・消費されている日韓のポピュラー音楽空間のメカニズムは、ナショナル・ローカル・グローバルの諸次元でどのように構築されてきたのか」であった。この問いは、(1) 国家間の文化・社会的差異と音楽に関する研究、(2) トランスナショナルな文化融合と東アジア地域の現代性に関する研究、(3) グローバル化におけるポピュラー音楽の役割に関する研究といった次の三つを学術的背景としている。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、戦後日韓におけるポピュラー音楽空間の融合と相互作用の過程を、音楽(家)、産業、メディア、政策、法制度、学問、市場、消費様式の展開を通じて歴史のかつ実証的に探ることによって、その生産・流通・消費のメカニズムの差異と類似性をナショナル・ローカル・グローバルの次元で明らかにすることである。

本研究の学術的な特色・独創性は、音楽社会学とメディア研究、カルチュラルスタディーズを横断する学際的アプローチから、ポピュラー音楽をめぐる学術的問いと社会的問い両方に対して答えを出すことである。

一つは、東アジア地域の歴史からポピュラー音楽のグローバルな歴史を書き換えることを試みることである。本研究は、ポピュラー音楽における中心 周辺モデルを超えたグローバルな生産・流通・消費のメカニズムとその中の新たな集団的アイデンティティを、これまで世界ポピュラー音楽の周辺として位置付けられてきた東アジア地域から明らかにすることを目指す。これは、J-POP や K-POP を代表とする東アジアのポピュラー音楽をめぐる世界の市場と言論空間から出されてきた問いに対し、領域を横断する学術的検討をつうじて新たな視座を与えることでもある。

もう一つは、「日韓」をめぐる二国間の認識とまなざしのフレームを、世界文化史的な観点に転換させることである。本研究は、これまでの批評空間において単純な「比較」の対象として語られてきた日韓のポピュラー音楽空間を、重層的な水準における「相互作用」との側面から歴史のかつ実証的に検討することで、国家間の次元を超えたグローバルな次元における共通の文化実践とその効果を明らかにすることを目指す。それは、「日韓」、「(アメリカを含む)東アジア」、「グローバル」を貫きながら作用する合理性と関係性をつうじて、「日韓」という問題そのものを再認識することにつながる。

### 3. 研究の方法

1945-1965年、1965-1988年、1988-2001年、2001-2018年の四つの時代に区分し、日韓のポピュラー音楽における音楽的・産業的・社会的合理性の差異と類似性を生み出した諸条件と要素、主体とイデオロギーの作用を明らかにするために、テキストに表れるジャンル融合、国家と地域、グローバルな水準で交錯する音楽・産業・社会の合理性、音楽家(生産主体)とファンダム(消費主体)の関係、メディア環境による流通構造の変容などを分析した。そ

の上で本研究は、(1)日韓それぞれのナショナルな音楽空間、(2)日韓のトランスナショナル音楽空間、(3)日韓を中心とする東アジアの音楽空間、(4)「日韓」を超えて拡張したグローバルな音楽空間としてのあり方と重層的な関係性を総合的に検討した「歴史化」と「理論化」を通じて、学術的かつ社会的インパクトのある研究成果を発信することを目指した。

#### 4. 研究成果

本研究は、テキストに表れるジャンル融合、国家と地域、グローバルな水準で交錯する音楽・産業・社会の合理性、音楽家（生産主体）とファンダム（消費主体）の関係、メディア環境による流通構造の変容などの分析を通じて、以下の作業を行なった。

(1)戦後日韓におけるポピュラー音楽と社会、産業の合理性が生み出したそれぞれのナショナルな音楽空間はいかなるもので、その差異と類似性は何かを明らかにした。

(2)戦後日韓のトランスナショナル音楽空間は、どのような人的交流とジャンル融合、メディア利用、受容環境の変化をつうじて構築されたのかを明らかにした。

(3)戦後東アジアの現代性の変容において、戦後日韓におけるポピュラー音楽空間がもつ意味は何かを明らかにした。

(4)日韓のポピュラー音楽空間の諸要素が、ポピュラー音楽のグローバルな生産・流通・消費のメカニズムとどのように接合してきたのかを明らかにした。

その成果は、国内外における単行本と論文の出版、学会発表、共同研究を通じて発信されると同時に、国内外の多数のメディア、共同研究会、市民講座、招聘講演、政策研究書などを通じて一般向けの知識・情報として活発に紹介され、学術インパクトだけでなく、社会的インパクトの高い成果として共有された。また、これらの成果は、単著『日韓のポピュラー音楽史』（慶應義塾大学出版会、2023年度下半期刊行予定）によって集大成され、多言語で国際的に発信される予定である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計10件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 金ソンミン	4. 巻 20
2. 論文標題 ソウルの消費空間から考える若者世代の文化的位置 1990年代から2010年代まで	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 現代韓国朝鮮研究	6. 最初と最後の頁 26-34
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 金ソンミン	4. 巻 2020-9
2. 論文標題 ソウルの夢 グローバル都市をあるく - - 第一回 江南 K的なもの」の発祥地	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 126-131
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金ソンミン	4. 巻 2020-10
2. 論文標題 ソウルの夢 グローバル都市をあるく - - 第二回 江南 江南左派」の構造	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 246-251
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金ソンミン	4. 巻 2020-11
2. 論文標題 ソウルの夢 グローバル都市をあるく - - 第三回 光化門 大衆の時代	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 260-265
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金ソンミン	4. 巻 2020-12
2. 論文標題 ソウルの夢 グローバル都市をあるく - - 第四回 鍾路・乙支路 流動する都心	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 272-277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金ソンミン	4. 巻 2021-1
2. 論文標題 ソウルの夢 グローバル都市をあるく - - 第五回 弘大・DMC 創造階級の街	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 258-263
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金ソンミン	4. 巻 2021-2
2. 論文標題 ソウルの夢 グローバル都市をあるく - - 第六回「龍山・梨泰院 ポスト・アメリカの時代	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 278-283
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金ソンミン	4. 巻 9
2. 論文標題 日本における韓流・韓流における日本	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 GALAC	6. 最初と最後の頁 12-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金ソンミン	4. 巻 133
2. 論文標題 日本の音楽市場におけるK-POPのカテゴリー化	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 韓国日本学会日本学報	6. 最初と最後の頁 77-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金ソンミン	4. 巻 9
2. 論文標題 BTSが解放したもの	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 254-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計12件 (うち招待講演 12件 / うち国際学会 5件)

1. 発表者名 Sungmin Kim
2. 発表標題 Sukiyaki and Camellia Girl: Excluded and Smuggled Japan-ness in Post-war South Korea
3. 学会等名 International Symposia Resonating Across Oceanic Currents A Maritime History of Popular Music in and from Japan, 1920s-1960s (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金ソンミン
2. 発表標題 ポピュラー音楽はいかに記憶するのか: K-POPを事例に
3. 学会等名 広島大学平和への記憶学特別講演 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金ソソミン
2. 発表標題 グローバル文化からみた日韓の再構築
3. 学会等名 駐札幌総領事館主催シンポジウム「未来志向的な韓日関係」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金ソソミン
2. 発表標題 韓国に大衆音楽史からみた反日の重層
3. 学会等名 日本ポピュラー音楽学会第33回大会ワークショップ（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金ソソミン
2. 発表標題 韓国オーディション番組の変容
3. 学会等名 シンポジウム「オーディション番組とアイドル文化」（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金ソソミン
2. 発表標題 Kの拡張性と閉鎖性：韓国大衆文化の境界にかんする再検討
3. 学会等名 ソウル大 - 北海道大学共同セミナー「日本における韓流を読み直す：同時代性とグローバルの観点から」（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金ソンミン
2. 発表標題 『クール・ジャパン戦略』における文化ナショナリズムの構造 - 『韓流』と『韓国』へのまなざしを中心に
3. 学会等名 「移動権とシティズンシップ」研究会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金ソンミン
2. 発表標題 日本の中の韓流 - 歴史と特徴、そして課題
3. 学会等名 大阪総領事館主催シンポジウム＜日本の中の韓流と未来志向的な韓日関係＞（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金ソンミン
2. 発表標題 冷戦期日韓の文化交流とテレビ
3. 学会等名 翰林大学校日本学研究所主催国際シンポジウム＜冷戦期東アジアの大衆文化におけるナショナリズムと文化権力＞（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sungmin Kim
2. 発表標題 Listening to Conflict: Yun Isang's Heritage for Peace in Tongyeong Tourism
3. 学会等名 International Research Conference Weaving Peace Through Heritage Tourism（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sungmin Kim
2. 発表標題 Between Japanism and De-Japanism: A study of K-Pop in Japan」 Session: K-Pop in Conflict and Negotiation in Global、 The International Association for the Study of Popular Music
3. 学会等名 International Association for the Study of Popular Music(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金ソンミン
2. 発表標題 日韓の文化的融合と相互作用 J-POPとK-POPのカテゴリー化を中心に
3. 学会等名 韓国日本学会(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 金ソンミン	4. 発行年 2020年
2. 出版社 韓国国際文化交流振興院(KOFICE)	5. 総ページ数 386
3. 書名 韓流、ネクストステップ	

1. 著者名 金ソンミン	4. 発行年 2021年
2. 出版社 弘文堂	5. 総ページ数 284
3. 書名 いま、私たちをつなぐもの 拡張現実時代の観光とメディア	

1. 著者名 金ソンミン	4. 発行年 2021年
2. 出版社 KUON	5. 総ページ数 341
3. 書名 韓国・朝鮮の美を読む	

1. 著者名 金ソンミン	4. 発行年 2019年
2. 出版社 J&C	5. 総ページ数 69
3. 書名 韓日/大衆/文化 - 「1965年体制」をこえて	

1. 著者名 金ソンミン	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 348
3. 書名 フィールドから読み解く観光文化学：「体験」を「研究」にする16章	

1. 著者名 金ソンミン	4. 発行年 2019年
2. 出版社 チニンジン	5. 総ページ数 326
3. 書名 アジアツーリズムー東アジア旅行と地理的想像（韓国語）	

1. 著者名 Sungmin Kim	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Post War South Korea and Japanese Popular Culture	5. 総ページ数 212
3. 書名 Trans Pacific Press	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------